

目次

I . 総括研究報告	1
水澤 英洋 (国立精神・神経医療研究センター)	
. プリオン病のサーベイランス結果	13
. 分担研究報告	
1. サーベイランスデータに基づくわが国のプリオン病の疫学像 (1999-2016 年データ)	25
中村 好一 (自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学)	
2. プリオン病サーベイランスデータの管理・運用の研究	41
金谷 泰宏 (国立保健医療科学院健康危機管理部)	
3. サーベイランスの諸問題 (特に未回収問題と低剖検率) について	45
塚本 忠 (国立精神神経医療研究センター病院神経内科)	
4. 本邦の CJD サーベイランスにおけるプリオン病の脳波診断	47
黒岩 義之 (財務省診療所)	
5. CJD サーベイランスにおける画像コンサルテーション症例の検討と課題について	49
原田 雅史 (徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部放射線科学)	
6. 硬膜移植後 Creutzfeldt-Jakob 病の頭部 MRI 拡散強調画像の検討	53
山田 正仁 (金沢大学大学院脳老化・神経病態学 (神経内科学))	
7. プリオン病サーベイランスにおけるヒトプリオン病の髄液中のバイオマーカーの検討と 異常プリオン蛋白試験管内増幅法 (RT-QUIC 法) による解析	59
佐藤 克也 (長崎大学・院・運動障害リハビリテーション学講座 (神経内科学))	
8. ヒトプリオン病の遺伝子解析と VV2 プリオンの滅菌法開発	63
北本 哲之 (東北大学大学院医学系研究科病態神経学)	
9. RT Quick 偽陽性二症例の臨床病理学期検討	69
村山 繁雄 (東京都健康長寿医療センター神経内科・バイオリソースセンター・ 高齢者ブレインバンク (神経病理))	
10. 平成 28 年度 北海道地区のプリオン病サーベイランス状況について	73
佐々木秀直 (北海道大学大学院医学研究科神経内科学)	
11. 平成 28 年度 東北地方におけるプリオン病のサーベイランス状況	77
青木 正志 (東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学)	
12. 新潟・群馬・長野におけるプリオン病の発生状況	79
小野寺 理 (新潟大学脳研究所神経内科学分野)	
13. 遺伝性プリオン病のアミロイド病変とタウ病変	81
三條 伸夫 (東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野 (神経内科))	
14. 臨床経過の異なるコドン 102 変異を伴う Gerstmann-Sträussler-Scheinker 病 2 症例の臨床病理学的検討	91
田中 章景 (横浜市立大学大学院医学研究科神経内科学)	

15. MM2 視床型 sCJD に類似した臨床症状、画像所見を呈した前頭側頭型認知症の 1 剖検例・	93
犬塚 貴 (岐阜大学大学院医学系研究科 神経内科・老年学)	
16. プリオン病患者宅への同行訪問と今年度の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス	
状況・	97
望月 秀樹 (大阪大学大学院医学系研究科神経内科学)	
17. 中国四国地区におけるプリオン病サーベイランス・	101
阿部 康二 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学)	
18. P102L 変異を有する GSS の臨床疫学的研究・	105
村井 弘之 (国際医療福祉大学医学部 神経内科)	
19. プリオン病の二次感染リスク者のフォローアップに関する研究・	109
齊藤 延人 (東京大学医学部附属病院)	
20. DBS(deep brain stimulation; 脳深部刺激)療法に着目した手術器械の滅菌状況ならびに	
添付文書の検証・	111
太組 一郎 (日本医科大学武蔵小杉病院・脳神経外科)	
21. プリオン病の患者・家族の支援：遺伝カウンセリングの現状と課題・	115
田村智英子 (FMC 東京クリニック)	
22. 耐熱性プロテアーゼによるプリオン蛋白質の分解と二次感染予防法の確立・	121
古賀 雄一 (大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻・蛋白質工学)	
23. プリオン蛋白質の安定性及び iPS 細胞の分化に伴うプリオン感受性の変化・	125
桑田 一夫 (岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科)	
研究成果の刊行に関する一覧表 ・	129
2016年度活動報告 ・	139
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班およびプリオン病の	
サーベイランスと感染予防に関する調査研究班合同研究報告会プログラム ・	155
プリオン病のサーベイランスと対策に関する全国担当者会議 ・	159
サーベイランスの指針 ・	171
プリオン病インシデント調査資料 ・	205